

せい
かい
ご
づ
ま

性 介 護

妻

排
泄
介
護

食
事
介
護

入
浴
介
護

成
人
指
定

逆
ら
え
な
い
村
の
権
力
者
に

性
介
護
さ
せ
ら
れ
て
い
た
僕
の
妻



性介護妻

逆らえない村の権力者に
性介護させられていた僕の妻

ガラガラ



ただいま



ああ…みんな
本当に良くしてくれて
ここにきて良かったよ



お帰りなさい
仕事の方は慣れた？



ただ美琴には
急な田舎暮らしで
迷惑かけてるから

そんなことない
アナタが元気になって
くれることが一番なもの



夫は前職で受けた
パワハラがきっかけで
病を患い

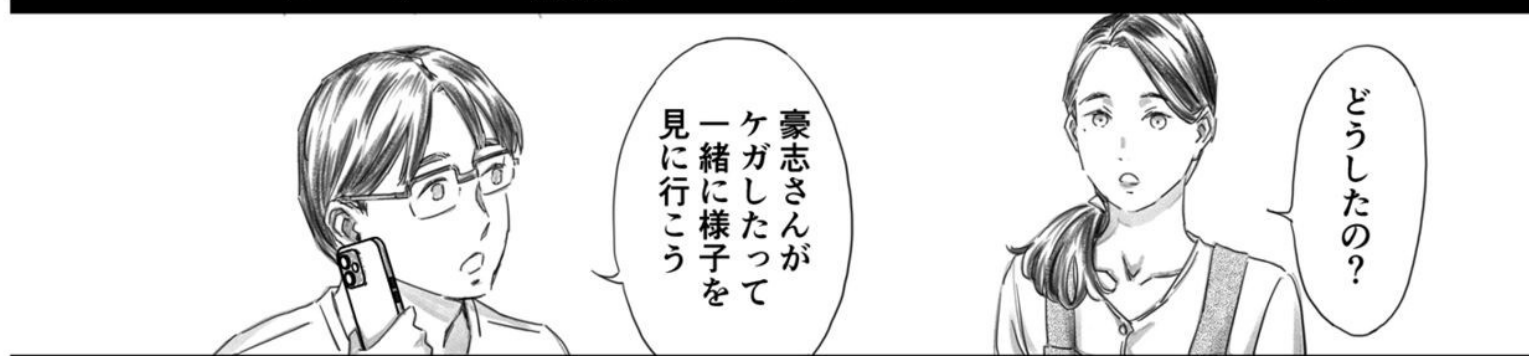
療養も兼ねて
移住者を支援している
この村に
夫婦二人でやってきた



ここはとても過ごしやすく
役場で働くことになった夫は
日に日に回復していった

もしもし豪志さん？
お世話になります
どうされました？

え？それは大変ですね
すぐに伺います



豪志さんが
ケガしたって
一緒に様子を
見に行こう

どうしたの？



それが自転車で
転んでしまっただね

いやあ悪いね
湯浅くん
それに奥さんまで

いえ…

一体どうされたんです？

この人は豪志猛ごうしたける
村の大地主で
いわゆる権力者といって
差支えない

この通り
足と手をやってしまった
歳はとりなくないものだよ

骨の方は？

幸い折れて
はいないよ

それで
お願いしたいことが
あってね

治るまでの
大体一ヶ月間

住処を破格の値段で
提供してくれた上
夫の仕事先まで
手配してくれた
言わば恩人である

奥さんに私の介護を
頼めないかだろうか

そうですね！
家も近所ですし

どうだろう美琴
豪志さんの力に
なってくれないか

いやでも…

家事はボクの方でも
できるだけやるから

だけれども

ええ…わかりました
私で良ければ

ただのいい人ではない
怖さを感じる

これから頼むよ

排泄介護



じゃあボクは先に帰って食事の支度をしておくよ

あ…アナタ…

人のいい夫は何も疑わない

では早速だがトイレに連れて行って貰えるかな？

はい…



ところで君たち子供は作らないのかね？

この村なら子育てにもうってつけだ

どんだん子作りも頑張るといい

…

カキカキ



ええ…なかなか恵まれなくて

デリケートな話をずけずけと聞いてくる

では掴まらせてもらうよ

はいお気をつけて

よっこらしよ



薄々感づいていた
この人の目的を
認識した

このまま便座に
座らせてくれんか



けれどこの人が
夫の恩人であるということが
強く拒むことを躊躇させた

次はズボンを
脱がしてくれ



やめて……トキ

んん？どうした
ちゃんと掴まらないと
危ないだろう



そう——
これはあくまで
介護なのだから

何も気にしなければ
いいだけ——



待ちなさい

では…



勃起したままではね
小便は出ないんだ

こうなったのも
奥さんに触れたせいだよ



なんて…太くて大きいの？



いいのか？
私の言う事を聞かなくて

旦那もやっと
良くなってきたんだろ



責任を取りたまえ
右手がコレで左手では
うまくシゴけないんだ



自分勝手に
不自由な老人と
旦那を見捨てるのか？

私はいつの間にか
罪悪感にさいなまれていた



お前がコレを
静めるんだ

滅茶苦茶なことを
言っている

このまま平穏な生活を
続けるためには
どうすればいいの
か
考えるんだ

そうだ—私が
ほんの少し我慢すれば

この生活が守られる

キッ
ズッ

ビッ
ビッ

ずいぶんと大人しい
手コキだな

旦那の好みなのか？
だがそれじゃあ
私を射精には導けんよ

ん

クッ
クッ

口で—
してもらおうか

これは夫のため

はあ

はあ

ビッ
ビッ

グッ
グッ

は

ア
ア



唾えるんだ

奥にツ!!



舐めているだけでは
おさまらんぞ



夫のそれより
あきらかに大きいモノが
喉を衝くたびに

苦しいのに



苦しい—

苦しい—



クワッ



今まで感じたことのない
感覚が



出すぞ!!

ガッガッ



これなら
すぐにイケそうだ

ズッ



一体この感覚は
なんなのか

ドク ドク



私はこれから
どうなって
しまうのだろうか

これから一ヶ月
たのんだよ

私の介護

でもこれは夫のため
ただの介護なのだから

トロ!



おおっ
いいぞ!!

私の全身を駆け巡っていた

ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

食事介護



エプロン姿の女性が
台所にいる
長く独り身の私には
とても嬉しい光景だよ

いやあ美味しそうだ
では食べさせて
くれるかな

失礼します

だから咀嚼したものを
口移しで食べさせては
もらえないだろうか

モグモグ

うーんうまい！
だがね奥さん
老人が食べるには
少し硬いかな

そうして日が変わっても
介護という名の辱めは
続いていた

一体なんてことを
言い出すのか

そんなこと
できません！



しかし強引でありながら情にも訴えてくる

はい…

頼むよ…
このままでは
食事ができなくて
弱ってしまふ

この人のいうことを聞かない自分が悪いのではないかと錯覚する



そうしていつの間にか言いなりになっているのだ

モグ モグ

グキョ



柔らかくなってすぐに飲み込めるよ

ありがとう

さあ
せっかくの素晴らしい料理
もっと食べさせておくれ

こんな屈辱的で変態的
行為をさせられているのに
この人の感謝の言葉が
身に染みてしまう



いつの間にか
唇を奪われ

おっと
もったいない

脱がされ
翫られている

なのに私はすでに
本気で抵抗をしなくなっていた



あッ
そこは…ッ

クチュッ

クチュ

クチュッ

それどころか



あッ

クチュッ

それどころか

クチュッ

クチュッ



ウソ…

なんだねコレは

感じて
濡れていた

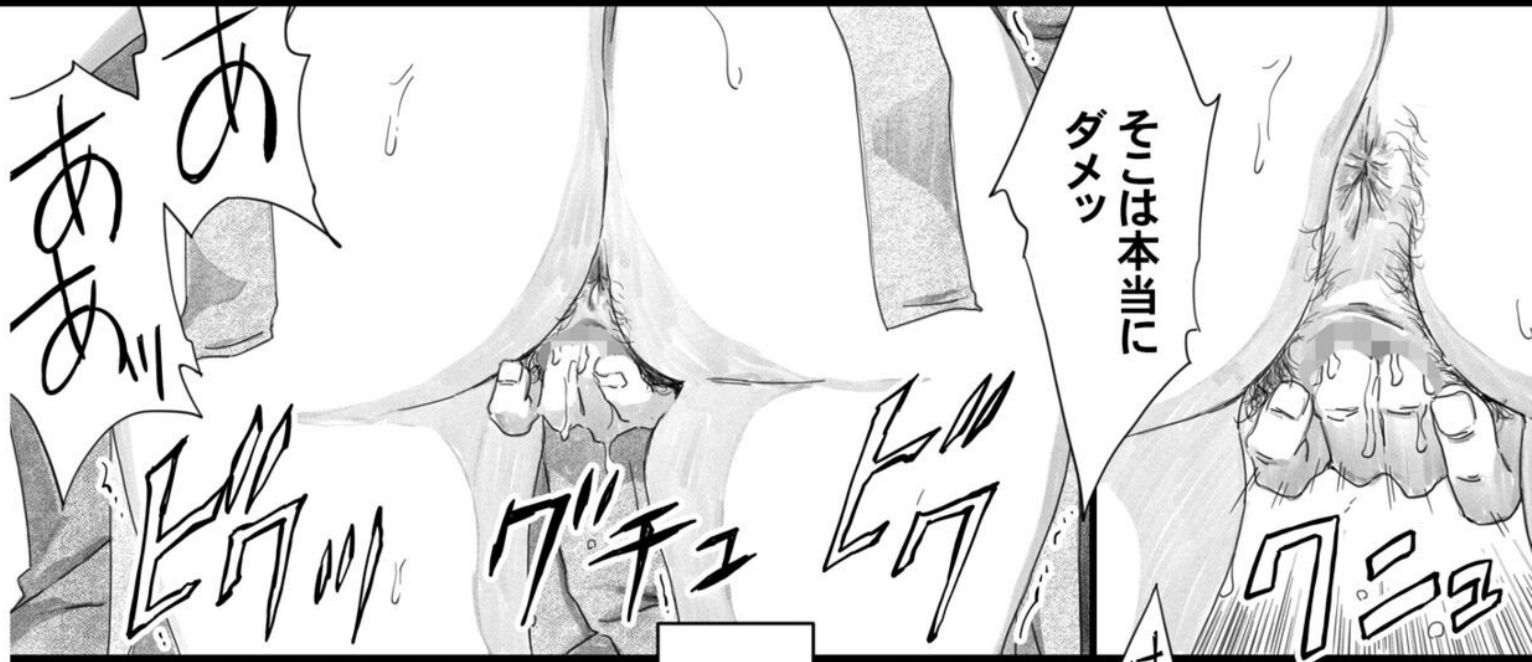
クチュッ



ザッ

け…結構です

奥さんがそのつもりならば
私も見合ったお礼をしなくては
ならないね



そこは本当に
ダメッ



なんで気持ちのいいところを
ピンポイントで突いてくるの？



ハハハッ
嫌がる割にどんどん
溢れてくるじゃないか



くる…来ちゃう
漏れちゃうウウ

それ以上は
本当に…

そして私は
イクという感覚を
はじめて味わった

それは理性も倫理観も
すべてが吹き飛ぶほどの
衝撃的な体験だった

あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ

あまりにも吹き出すから
食事にかかって
しまったじゃあないか

でも良い味付けに
なったかもしれないね

せっかくだから
頂くとしよう

ああ—なんだろう
私はこの人には敵わない

そう思い知った

入浴介護



まだ一線は
超えていないから…

そう言い訳をして
私はこの男の命令に
従順になっていた

ただね私はいつも
手ぬぐいなどは使わず
素手で洗っていたんだ

だから美琴も
同じように頼むよ

わかりました

ここも
綺麗にしてくれ

さあ久しぶりの風呂だ
体を洗ってもらおうかな

夫と比べて大きな体に
ツンと鼻につくニオイ

はい



手だけじゃあ
足りないんじゃないですか？

おう…
わかってきたんじゃないか
そうやって全身を使うんだ

アイル
アイル

今の私の体は
ただこの男を性的に
喜ばせるためだけのモノ



興奮する

ギョッ
ギョッ

あ♡



最高だ

たまらない

もっと喜んで
もらいたい

とても
気持ちいい

アイル
アイル

キョッ
キョッ



まだ早いですよ

ああこのまま
天国に行ってしまうそうさ



フフ：
どっちの意味で
気持ちいいんですか？

意地の悪いことを
言うようになったな

どっちの意味でもだ

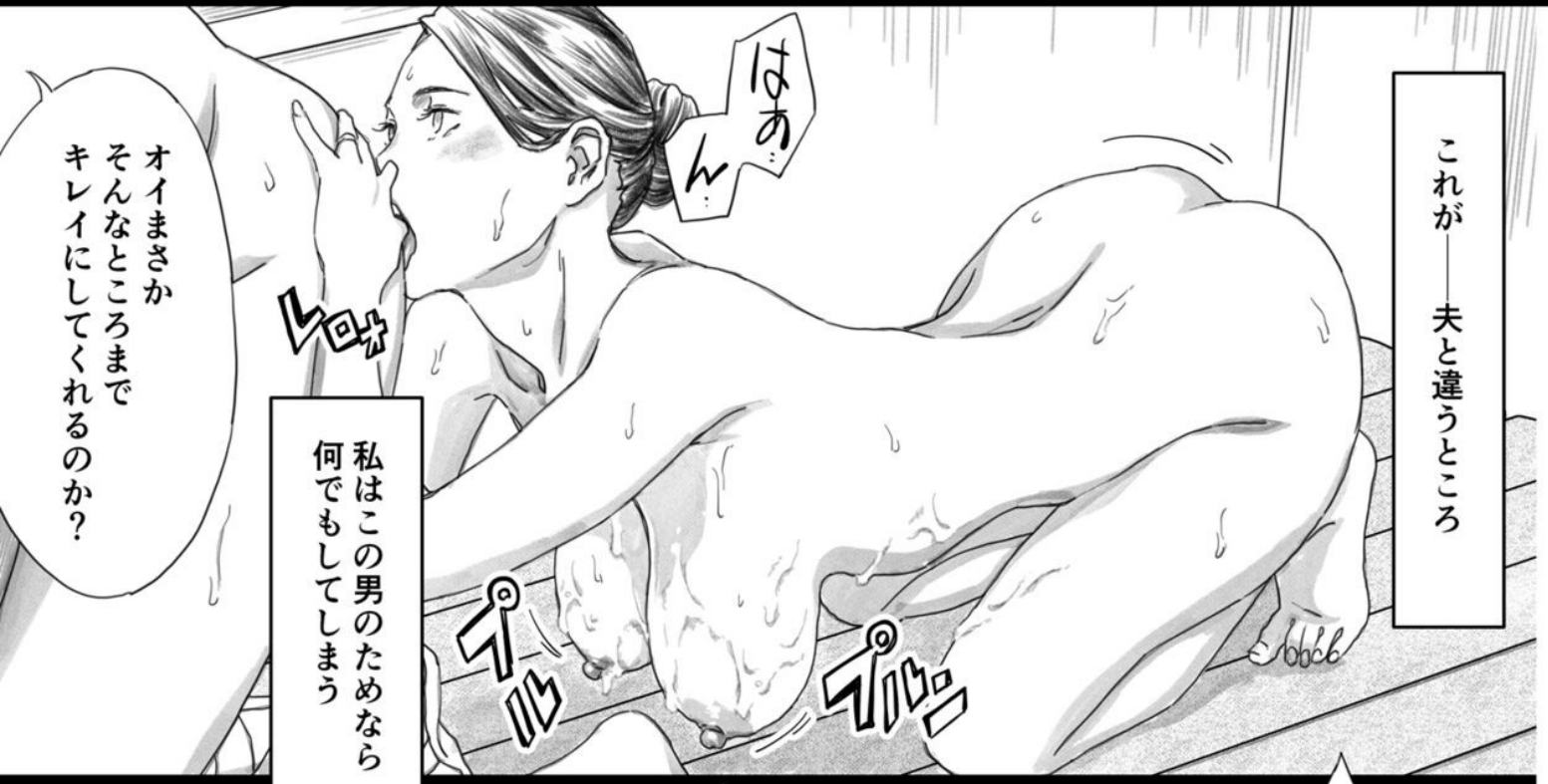


嬉しい



四つん這い
になって下さい

そうこの男は
私のすることに喜び興奮する
その反応がきちんとある



オイまさか
そんなところまで
キレイにしてくれるのか？

私はこの男のためなら
何でもしてしまおう

これが 夫と違うところ



さすがの私も
こんなことをされたのは
初めてだ

ええ隅々まで
洗わないと

嬉しい



挿入するか挿入れないか

だが決めるのは美琴
お前だ

私が 決める

ではここまでしてくれただけを
やらんといかんなあ

ドキ

しる

いっそのこと無理やり
犯してくれればいいのに

私は

ズルい

答えなんてもう
とっくに決まっているのに

結婚してから初めて
夫とは違うモノが
挿入ってくる

はっ

あ
あ
あ

おっ



まだ私が
イッてないんだが

イクッ
イクしましたッ

はッ

ズッ
ズッ



あッ

はッ

今から膣に出すからな
私の子を孕みなさい

ここで命令……!!

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ああッ
ダメッ

私には夫が

孕ませてッ

あなたの
子供が欲しいッ

ダメッ

ダメえ♥

熱い：
入ってくるッ

強い男の精子

ちゃんと旦那と
膣出しセックス
しておけよ

妊娠した時の
アリバイ作りに
夫とセックスを
しなければならぬ

そしてここで
子供を産んで
ずっと暮せばいい

私はどちらの
子供を授かるのだろう

過ごしやすい
この村で一生涯

はい

私はどちらの子を
授かりたいのだろう

■あとがき

というわけで今回は1年半ぶりのオリジナル作品となります。
なぜだかソープモノもしくはお風呂での体洗いが無性に描きたくなくてどうしようか思案していたところ、介護モノの中のワンシーンでお風呂を入れることを思いつきました。
例によって催眠や媚薬を使うことも候補にあったのですが、なかなか逆らえない状況からなし崩し的に関係を持っていく状況がエロいかなと思ってこのような形になった次第です。
そして今回キャラクターを貧乳ぎみにしてみようかなと思っていたのですが…
ちょっとやる勇気がなかったです。巨乳はやっぱり良いものですね！

あと実は汚部屋モノも描いてみたいんですよ。
汚い部屋で汚い男に美女が犯されるという絵的なギャップが好きなのですが、いかんせん散らかった部屋を描くのが大変で、しかし汚い背景があってこそその汚部屋モノなのでなかなかハードルが高く実現は時間がかかりそうです。
何かいい汚部屋3D背景でもないかとクリスタ（描画ソフト）でたまに探しています。
もし描いたあかつきにはよろしくお願いします。

さて…2023年8月時点の情報として今現在アンズリウムさんにて「性豪召喚」を不定期ではありますが掲載させていただいております。短期連載ではありますがタイトルからもわかる通り異世界召喚エロファンタジーモノとなっています。よければご覧ください！

成年向けで新刊の「H3」新装版で「H1」「H2」が、一般向けで「ピンクロイヤル」「弓導士」の一卷二巻が電子書籍込みで発売中です。他にFANZAさんとDLsiteさんでは過去作の一部同人誌がDL販売中です。（天野雨乃で検索をかけてみてください）
共々よろしくお願ひ致します。
それではお買い上げいただきありがとうございました！

天野雨乃

<http://amanoameno.g3.xrea.com>

<https://pixiv.me/amanoameno>

<https://twitter.com/amanoameno>

宴会介護(コンパニオン)



さすが豪志さん
趣の違う宴会を
開いてくださる

この村に
新しい子供が生まれる
めでたい宴です
皆盛大に祝い
楽しんでください

ハハッ
こりや確かに
盛大だ!!



おいまだか？

ちょっと待ってって

順番だからな

最後に皆で記念写真と
行きましょう

それでは
この村の発展を祝って
はいチーズ!!

性介護妻

第一版発行 2023年 8月13日

著者 天野雨乃
連絡先 amano_ameno@hotmail.com

十八歳未満購読禁止
無断転載禁止



迎えられない
村の権力者に
性介護させられていた

僕の妻